

1 全体計画

教育理念（目指す学校像）

農業・家庭科の専門教育の特性を生かした特色ある教育実践を通して、地域社会に貢献できる将来のスペシャリストを育成する。

学校教育目標（育てたい生徒像）

- 1 自然を愛し、創造性と実践力に富み、個性豊かで社会人としての自覚を持つ、心身ともに健康な生徒を育成する。
- 2 学習活動を通して、生命あるものを大切にする態度やたくましく生きる力を身に付けた生徒を育成する。
- 3 地域の文化や産業について学び、地域社会を担う産業人・スペシャリストを育成する。

具体的な学校経営目標・計画（アクション）

1 自主性と社会性を備えた心豊かな教育の推進（規範意識と人づくり） ①挨拶の励行による人づくり ②美化意識の向上と環境整備の推進 ③自主的に行動する生徒の育成	2 進路意識の育成による学習意欲の向上（学びの目的づくり） ①成長段階に応じたキャリア教育の推進 ②授業力の向上と確かな学力の育成 ③専門性を生かした進路開拓と進路実現	3 地域に学び地域に還す教育の推進（地域に生きる学校づくり） ①地域と連携した学習活動による学びの深化 ②積極的な教育情報の発信による生徒募集 ③すべての教育活動を通した興陽ブランドの創出
--	---	---

キャリア教育目標

自らの在り方、生き方を考え、目標を持って主体的に進路を選択し、将来にわたって自己実現を図ることができる生徒の育成

育成したい能力

<b>人間関係形成・社会形成能力</b> コミュニケーション・スキル、チームワーク、他者を理解する力、リーダーシップ	<b>自己理解・自己管理能力</b> 自己の役割の理解、忍耐力、前向きに考える力、自己の動機付け、主体的行動力	<b>課題対応能力</b> 情報の収集・理解・選択・処理、課題発見、計画立案、実行力	<b>キャリアプランニング能力</b> 学ぶこと・働くことの目的・意義・役割の理解、将来設計、多様な生き方に関する理解
---	--	---	--

第1学年

インターンシップ[7月]  
(事前指導、当日、事後指導)  
オープンキャンパス[9月～]  
進路活動報告会[11月]

第2学年

職業理解のためのガイダンス[5月]  
インターンシップⅠ・Ⅱ[7・8月]  
(事前指導、当日、事後指導)  
オープンキャンパス[9月～]  
進路活動報告会[1月]

第3学年

進学ガイダンス[5月]、企業見学会[5月]  
卒業生を囲む会[5月]、外部講師による面接指導[5月]  
進路ガイダンス[6月]、オープンキャンパス[7月～]  
就活セミナー[7月]、面接指導[7・8月]、インターンシップⅠ・Ⅱ[7・8月]  
就職試験[9月～]、入試[10月～]、マナー講座[10月]  
進路活動報告会[1月]、内定事業所との懇談会[1月]

生徒の活動

農業科

農産物販売「ぼっけえ祭」  
宇野小学校との交流  
菜の花エコプロジェクト  
岡山南支援学校との交流  
学校間連携プロジェクト  
藤田地区ESDフィールドワーク  
農家見学  
ファミリー稲作体験会  
小学生への稲作学習指導  
桃に関する出前授業  
日本農業技術検定

農業機械科

農産物販売「ぼっけえ祭」  
のぞみ園との交流活動  
文化祭製作発表  
ものづくりコンテスト溶接作業部門  
全日本ゼロハンカー大会  
各種資格取得  
危険物取扱者試験  
ガス溶接技能講習  
小型車両系建設機械運転特別講習 他

造園デザイン科

農産物販売「ぼっけえ祭」  
県下水道公社植栽実習  
岡山南警察署植栽実習  
農マル園芸寄せ植え実習  
深山公園実習  
岡山市緑化フェア作庭実習  
岡山市総合文化体育館植栽実習  
藤田中花いっぱい運動  
ビュアリティまきび室内装飾  
世界らん展作品出展

家政科

保育実習  
お菓子、お弁当の宅配  
介護職員初任者研修  
手話講習会、点字講習会  
介護施設、デイサービスセンター実習  
小学生料理教室  
制作展(深山公園)  
ありがとうパーティー  
各種コンクール応募  
家庭科技術検定

被服デザイン科

3年生による手縫い・ミシン縫い講座  
ウォーキング講習会  
小学校での手縫い・ミシン縫い指導  
制作展(深山公園)  
福祉施設でのファッションショー交流  
ゆかた着付け講習会  
各種コンクール応募  
家庭科技術検定

各教科、総合的な学習の時間等の学習 基礎基本の定着、家庭学習の確立

学校行事 球技大会、修学旅行(2年)、体育祭、オープンスクール、文化祭

その他の教育活動 ホームルーム活動、清掃活動、生徒会・農業クラブ・家庭クラブ活動、部活動

キャリア教育を推進するための基盤

- ①生活習慣の確立…挨拶、言葉遣い、マナー等の指導
- ②職業観・勤労観の育成…インターンシップ、進路講話等の行事を通じた指導
- ③基礎学力の育成…進路学習を中心に一般常識の習得
- ④地域との連携…地域の教育力（保育園、小学校、中学校、福祉施設、農家、企業等）を活用した指導
- ⑤各学科の専門性を生かした進路指導

生徒努力目標

- ①いつでも誰にでもあいさつをしよう
- ②自ら進んで学ぼう
- ③自分や相手を大切にしよう
- ④きまりを守りマナーを身に付けよう
- ⑤学校や身のまわりを美しくしよう
- ⑥最後までやりとげよう

## 2 キャリア教育における体験的な取組の紹介

### (1) 学校（学科）の特色

本校は、平成29年度に創立100周年を迎える歴史と伝統を持ち、農業に関する学科3科（農業科・農業機械科・造園デザイン科）と、家庭に関する学科2科（家政科・被服デザイン科）を併設する専門高校である。

農業・家庭科の専門教育の特性を生かした特色ある教育実践を通して、地域社会に貢献できる将来のスペシャリストを育成することを目指している。特に、地域から学びながら学習や諸活動に取り組む中で、生徒の多彩な能力が育まれるとともに、学校の教育力を地域に還元する開かれた学校づくりに取り組み、年間約50件を超える地域との交流活動が実施されている。

また、より早い段階での職業意識の高揚を図るため、平成16年度から1年次で全員がインターンシップを実施し、さらに希望者には、学校設定科目「インターンシップⅠ」「インターンシップⅡ」の履修が可能で、系統的に学習できるよう教育課程を編成している。

ここでは、インターンシップを中心に体験的な取組を紹介する。

### (2) インターンシップについて

#### ①目的

本校に入学してくる生徒のほとんどが、中学校において職場体験を2～3日間行い、職業や仕事を知ると同時に、働く人の生き方に触れ、自分の将来や仕事を考えるといった学習を行っている。その経験を踏まえ、高等学校におけるインターンシップでは、興味を持ったり、将来進む可能性があったりする仕事や職業に関連する活動を試行的に体験することにより、それを手掛かりに社会人・職業人への移行準備を行い、勤労観や職業観の育成をねらいにしている。

#### ②校内体制

校内体制としては、1年生全員のインターンシップについては、進路指導課を中心に、1年団教員と協力して実施している。

希望者による学校設定科目「インターンシップⅠ」「インターンシップⅡ」については、進路指導課を中心に、関係学科教員と協力して実施している。

#### ③内容

##### インターンシップ [1年生全員]

- ・実施日数：2日
- ・実施時期：7月上旬（授業日）
- ・実施形態：1年生全員参加
- ・教育課程への位置付け：特別活動（学校行事）
- ・内 容： 岡山県中小企業家同友会幹旋の事業所と本校進路指導課から独自に依頼した事業所、計約40社で実施。生徒からインターンシップ先事業所の希望調査を行い、調整後、事業所の決定、各生徒への連絡を行う。

事前指導として1年生全員が心構えやインターンシップの意義などを含めた講演を聴いた後、各事業所担当者から事業内容、仕事内容、事業所までの経路や実施時間、持参物の確認等について、直接説明をしていただく。

実施中は、実習日誌を記入し、毎日の終了時に事業所担当者に点検していただいている。また、生徒の実習中は、進路指導課・1年団の教員は、各事業所を訪問し、巡回指導を行っている。

実施後は、インターンシップレポートをまとめ、担任へ提出するとともに、事後指導として各クラスにおいて各自の体験内容や考えたことを発表し合う反省会を実施している。反省会にも各事業所の担当者に来校いただき、アドバイスをお願いしている。



事前指導の様子



事業所での実習風景



事後指導の様子



## 「インターンシップⅠ」「インターンシップⅡ」 [1・2・3年生希望者]

※「インターンシップⅠ」を修了した者が、「インターンシップⅡ」の履修をする。

### 【実施までの流れ】

- (1) 希望調査の実施 (各学科長より) 5月中旬 (1年生ではインターンシップの体験後)
- (2) 希望調査の調整後、体験先事業所の決定、各生徒へ連絡 6月中旬
- (3) インターンシップの事前指導 (校内・各事業所) 7月中・下旬
- (4) インターンシップの実施 (最低4日間) 夏季休業中 (8月)
- (5) インターンシップ反省会の実施 (事業所担当者参加) 9月中旬

### 【実施の内容】

- ・実施日数：「インターンシップⅠ」・・・4日  
「インターンシップⅡ」・・・4日～14日程度  
※実施日数には、事前指導・事後指導の日数は含まない。
- ・実施時期：夏季休業中
- ・実施形態：希望者のみ参加
- ・教育課程への位置付け：農業に関する学科は、教科「農業」の学校設定科目「インターンシップⅠ」「インターンシップⅡ」  
家庭に関する学科は、教科「家庭」の学校設定科目「インターンシップⅠ」「インターンシップⅡ」
- ・単位認定：事前指導、就業体験、事後指導（レポート提出、反省会）の成果を評価し、実施日数に応じた単位の履修を認定する。  
実施日数 4日以上 8日以内・・・1単位  
9日以上13日以内・・・2単位  
14日以上・・・・・・・・・・3単位
- ・主な連携先：JA、農業法人、造園業者、保育園、福祉施設、製菓製造企業、アパレル企業、ホテル等



事業所での実習風景



反省会の様子

## ④成果

1年生全員によるインターンシップでは、職業観の育成や卒業後の進路選択を考える上で、早期における一つの機会となっている。

希望者によるインターンシップでは、自らの視野を広げるとともに、自分自身を見つめることができる良い機会となっている。インターンシップを通して、卒業後の進路、大きく捉えれば人生設計の軸となる職業選びへとつながり、将来について積極的に考えるきっかけとなっている。まさに、望ましい職業観・勤労観を養うことができているものと思われる。

また、このインターンシップを経て進路決定をした生徒は、自らの進路選択の最終段階で、自分に合った仕事内容かどうかの吟味ができており、就職後の離職率が低い。

## ⑤今後の課題

1年生全員によるインターンシップでは、協力いただける事業所に地域や職種の偏りがあるため、生徒全員を希望通りの職場に割り当てることが難しい。また、1年生の7月に実施しているため、参加意識の低い生徒、自らの進路について深く考えることができている生徒もおり、3年間の進路実現への指導に十分結び付けられていない現状もある。

希望者によるインターンシップでは、実際に選択する希望者が少ないため、学科長・担任を中心に参加を広く呼びかけ、多くの生徒が参加できる体制づくりが必要である。また、長期休業中の実施ではあるが、実施期間はどの生徒も最大4日間が限界であり、それ以上の就業体験ができない実態（学校行事、農業実習、事業所の都合など）がある。